

第53号 ふれあい

平成二十九年 自治会役員 年頭のご挨拶



区長
福岡健彦

黒石団地区の皆さま明けましておめでとうございます。皆さま方におかれましては、穏やかな新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

昨年は未曾有の大地震に遭遇し、改めてお見舞い申し上げますとともに防災意識の向上、防災体制の確立が極めて重要であると痛感したところで

さて今年の自治会活動の大きな課題のひとつとして「組織改編」があります。昭和五十年自治会発足、由来約四十年、往時と比べてみると今では世帯数千戸、人口は三千人を超えるなど大きな変貌を遂げています。当然の事ながら行政との折衝業務の増加、質的变化は著しいものがあり、旧態以前とした現行組織では、次期役員等の選任についても極めて困難が伴うと考えます。

将来に亘って安定した自治会運営を行うには、第一段階として、副区長を三人とし、区長を含めて業務を分担し、平準化を図る事とします。

それ以降は新体制で論議を重ね次の第二段階へ取り組んでいきたいとの思いでいっばいです。どうか皆さま方の各段のご理解をお願い致します。

最後にになりましたが、次の通常総会をもって区長を退任することになりました。これまでの皆様のご協力に心より感謝申し上げますとともに皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

発行責任者
黒石団地区自治会
区長 福岡健彦
編集者
津留健二



副区長
阪口隆利

十人十色という。十人は現役員会（三役十組長）の構成人数である。班の平均的な戸数二十戸、人口六十名前後、そして団地の中には、赤ちゃんから長寿の方までの一世帯の時間がある。職業も働き方も、趣味嗜好も様々である。千人千色を優に超えている。

班、組、自治会と単位を広げながら、到来した「今」と、訪れる「未来」に向かって、単色化するのではなく、混合色のまま成り立つ自治会の姿をみんな考えていきましよう。



会計長
山邊尚幸

現在自治会は大きな課題を抱えています。それは少子高齢化の波が押し寄せていることです。またマンモス化した団地の運営、役員の後継者不足など課題が山積しています。このような状況では自治会の未来が開けないとの認識から、組織改編の取組みが一昨年から行われてきました。

今年になり、区民の皆さまへ改編のページとなるような役員組織改編案をご提示する運びとなりました。これにともない規約等の改正も行われます。これまでもやってきました運営方法が変わることになりますので、様々なご意見があるうかと考えられます。大局的な視野に立ち、皆さま方に議論をしていただきたいと思っております。この改編作業は、一歩目が踏み出したばかりです。まずは点から線へ、そして波へと改編の波が広がってゆくことを願っています。



東組長
時松貴人
文：妻久美子

組長を引き受けて任期の二年が経とうとしています。引き受ける際は、ただ「大変」の一言でしかありませんでした。家は核家族で夫婦共稼ぎ、子どもは小・中学校に通う姉弟です。しかし良い自治会役員は温かい協力もあり、微力ながら様々な自治会の仕事・行事に参加する事によって、地域のつながり、行事の計画、運営に参加する楽しさが分かりました。

組長は「大変」ではなく「私にもできる」でした。若い皆さんも組長してみませんか？



西組長
富田健治

昨年は、私にとっても色々な出来事があった年でした。組長を引き受けたこと、実家で新規就農をしたことです。

団地に家をもつて、二十数年ほとんど付き合のない生活でしたが、組長になったことで団地の多くの人と知り合えることになりました。一生の財産になりました。農業の方も、野菜と梅の栽培、漬物づくりなど、慣れないことばかりですが、八ヶ月間農業大学校（実践コース）で学んだ事を生かして頑張ります。



北1組長
道下健一

班内会議で組長の順番をクジ引きで決める事になり、六歳の娘にクジを引かせました。「二番」クジを引き、「二番は当たりだね！」と娘が（意味を分かっている）嬉しそうに言ってきた事は、今でも良い思い出です。組長で苦労した点は、「これを見ればわかる！」といった指南書が無く、何事も手探りで進んでいく事。次の組長が同じ思いをしないように指南書を作る事は来期の課題です。「二期一会」を大切に、来期も頑張ります。



南2組長
古賀 進

突然組長をやることで後悔もあつたが、住民との交流の機会を持つメリットが得られた。自治会活動に関わることは団地の活動内容や多様な課題を把握することもできた。一方住民の自治会活動への認識は低く、各種行事への参加が少ない現状を見て、今後暮らし易い団地づくりのため、住民間の交流を回り、万一災害が発生した場合円滑な共助が必要であり、日頃から自治会活動への参加を強く呼びかけに世話役として協力したい。



北1組長
塚本正昭

昨年は熊本地震もあり不安な一年となりました。自治会としても最大限の努力をしました。私も現役の頃は自治会について無関心でしたが、組長として自治会に関わる様になりきづかされました。大なり小なり私たちの生活に必要な一部だと言う事です。当団地でも高齢化が進んでいます。これから若い活力で自治会を盛り上げて頂く事が、必要です。若い方の参加をお願いします。



北2組長
木下 春

一家団欒の一時に突如として発生した熊本地震、甚大な被害を出しその余震は九ヶ月を過ぎた現在も続いており不安な毎日です。この貴重な地震体験を活かし、家族で避難場所、連絡方法、非常持ち出し等を話し合っておき、向こう三軒両隣の人の輪を大切に、人の輪が災害発生時には貴重な情報として生きてきます。日常生活のなかで物心両面の準備を整えておきましょう。備えあれば憂いなし。



中組長
菅 政宏

永年の転勤生活を卒業し、黒石団地に帰ってみれば団地音痴症とも言うべき私がある。中組長を仰せつかったのです。各種の会議や行事等に積極的に参加しお付き合いするうちに団地に溶け込み、団地の素晴らしさを再認識し組長職務はもちろん、あの熊本地震での避難活動の対応が出来たと思っております。これらも団地の皆様方のご協力があったからこそ深く感謝致しますと共に、退任にあたり厚くお礼を申し上げます。



公民館主事
塚野周二

平成二十九年、西の年ご家族共々ご健勝にお迎えのこととお慶び申し上げます。熊本地震で被害を受けられた方も多かと思いますが、公民館も階段の壁にひび割れ又トイレのタイルも剥がれましたが、幸い公民館活動に支障無く黒石市民センターのサークルも受け入れてきました。災い転じて福となすの言葉通りに補修工事の補助も受けられるようになりました。西年で羽ばたいて行きたいと思っております。



広報委員長
津留健二

広報委員長として今年で三年目に入ります。ホームページや区報の発行を行っています。広報を担当して初めて自治会の活動全般が見えて来たように思います。自治会活動は会社の仕事とは大きく異なり、労働に対する対価はもちろん、役員への名誉もありません。しかし当団地には十以上のボランティア団体が長年に亘って活動しているその姿勢に頭が下がります。子ども達の登下校などのパトロールには多くの方が参加しています。この良き伝統は末長く残して行きたいものです。

**年末恒例のもちつき大会
が開催されました。**

平成二十八年十二月二十三日
午前八時より黒石団地区公民館
でもちつき大会が開催されまし
た。今年は子どもとその保護者
や一般参加者が六十七名、行事
部、婦人部、役員等、ボランテ
ィアが五十名で合計百十七名と
沢山の人で大いに賑わいました。
子供たちも小さな杵で一生涯
命餅をついていました。出来た
餅はその場であんこ餅やきな粉
をつけてみんなで食べました。



婦人部のみなさん



初めてのもちつき

**年末夜警に百七十二名が
参加して行いました。**

十二月二十八日から三十日の午後八
時から自主防災組織と防犯パトロー
ル隊による年末夜警が実施されまし
た。自分たちの団地
の安全は自分たちで
守るとの事で今回は
三日間で百七十二名
の参加がありました。
なかでも子ども達の
参加が二十四名と例
年に無く多く大人と
同じコースを元気良
く団地内をパトロー
ルしました。



歩きパトロール隊の整列



12/28荒木市長の調見式

自主防災組織も二
年目になりスムー
ズにパトロールが
出来ていました。



出発式



パトロール終了式

**無病息災を願う「どんどや」
が開催されました。**

一月九日午前十時
半に黒石グラウン
ドで「どんどや」
が開催されまし
た。「どんどや」
の後は女性有志
のぜんざいを目
当てに長い行列
が出来ていました。



ぜんざいの行列



ぜんざいの行列



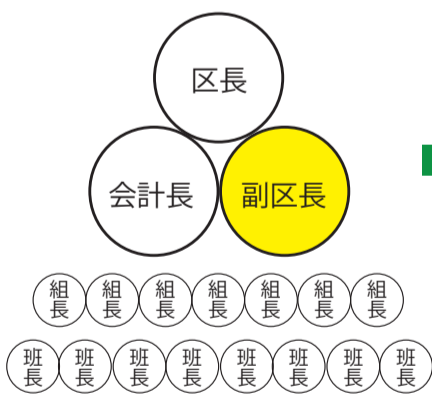
ぜんざいを食事中



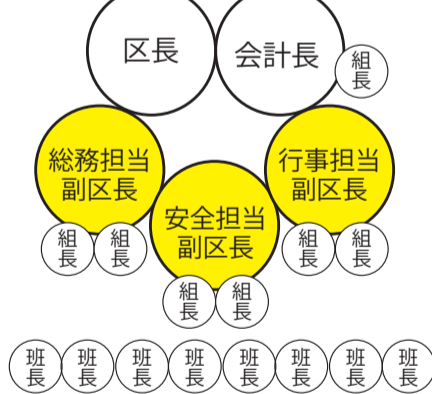
ぜんざいを食事中

組織改編のイメージ図

平成29年3月まで



平成29年4月～



変更後

※組織改編の概要についてはホームページに掲載中。2月に臨時号で詳しく内容説明予定

**副区長3名への
組織改編について**

当団地も千世帯を超えて色々なこと
で見直しが必要となってきました。
一、高齢化、独居化が進み班長、組
長、役員などの選出が困難。
二、現在の班、組などの構成数にバ
ラツキがあり、再編成の必要が
ある。
三、世帯数の拡大により、多岐に亘
る課題や問題があり、その解決
には役員のマンパワーが不足。
以上の状況から役員会では来期よ
り副区長を総務、安全、行事の三
名体制とし、そのサポートとして
組長を配し、課題や問題の解決に
取り組む組織改編を提案致します。
一月からの班内会議での活発な議
論をお願い致します。

**「成人の日」新成人二十八名
に記念品を贈呈**

ご成人おめでとう
ございます。自治
会では一月九日の
成人の日に合わせて
団地の二十八名
の新成人にお祝いの
記念品としてク
オカードを贈呈し
ました。



区民の声

自治会では区民の皆さんのご意見
や要望などをこの欄で紹介したい
と思っています。ぜひお気軽に皆
さんのお声をお寄せください。
(区民ならどなたでも結構です。
投稿は公民館の玄関横のポストか
HP問い合わせよりeメールで)

自治会から
のお知らせ



※黒石団地区自治会では左記の方
にお祝い金や記念品を贈呈して
います。該当する方は、お近くの
班長や組長へお知らせ下さい。

赤ちゃん誕生



0歳



成人の日



敬老会

75歳

※二月十九日(日)

リサイクル資源物回収実施予定

※二月二十六日(日)

新旧防備委員会実地予定

※三月五日(日)

第五回総合防災訓練実施予定

※三月十九日(日)

新旧役員会実施予定